

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28年 3月11日

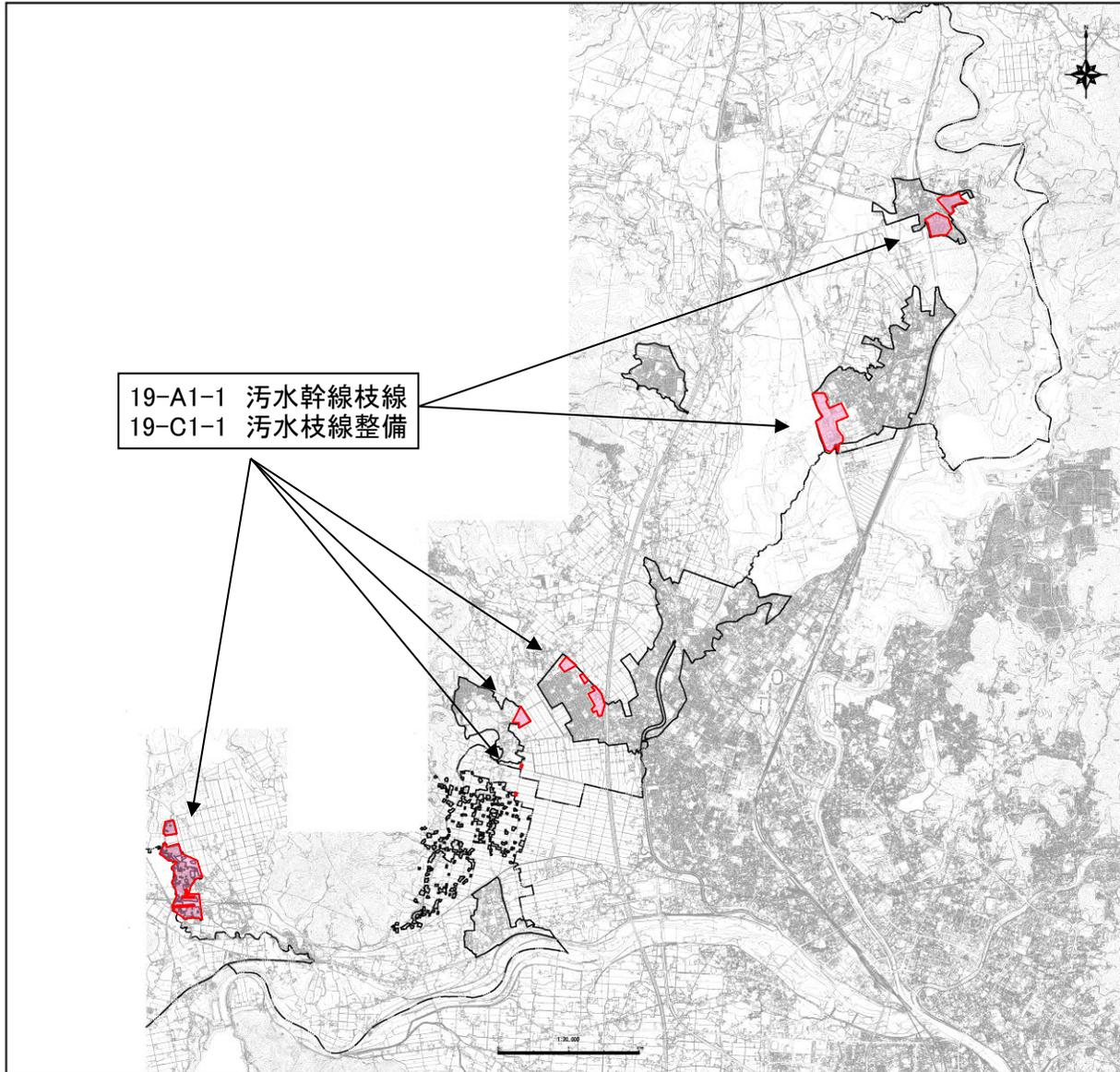
計画の名称	19 滝沢市における循環のみちの実現																										
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)					交付対象	滝沢市																				
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																										
計画の成果目標 (定量的指標)	①汚水の整備率を88.3% (H22) から91.1% (H26) に増加させる。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="3">① 汚水の整備率 整備済み面積 (ha) / 整備を実施すべき面積 (ha)</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>88.3%</td> <td>89.9%</td> <td>91.1%</td> <td></td> </tr> </table>											① 汚水の整備率 整備済み面積 (ha) / 整備を実施すべき面積 (ha)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)		88.3%	89.9%	91.1%	
① 汚水の整備率 整備済み面積 (ha) / 整備を実施すべき面積 (ha)	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																								
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																								
	88.3%	89.9%	91.1%																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	624百万円 416百万円	A	549百万円 401百万円	B	0百万円 0百万円	C	75百万円 15百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	12.1% 3.7%																	
事後評価																											
○事後評価の実施体制、実施時期																											
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																					
上下水道事業経営審議会にて事後評価を実施						平成28年 2月29日実施																					
						公表の方法																					
						滝沢市ホームページにて公表																					
1. 交付対象事業の進捗状況																											
交付対象事業																											
A 下水道 上段：計画 下段：実施																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
											H22	H23	H24	H25	H26												
都南処理区																											
19-A1-1	下水道	一般	滝沢市	直接	-	分流	新設	汚水幹線枝線 (未普及対策)	L=6.6km L=3.0km	滝沢市						549 401											
合計											549 401																
B 関連社会資本整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H22	H23	H24	H25	H26													
番号												一体的に実施することにより期待される効果					備考										
C 効果促進事業 上段：計画 下段：実施																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H22	H23	H24	H25	H26													
19-C1-1	下水道	一般	滝沢市	直接	-	新設	汚水枝線整備 (未普及対策)	L=1.1km L=0.2km	滝沢市						75 15												
合計											75 15																
番号												一体的に実施することにより期待される効果					備考										
19-C1-1	基幹事業である幹線枝線(19-A1-1)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、整備率の向上に寄与する。																										

その他関連する事業											
計画等の名称		滝沢市における循環のみちの実現					上段：計画			下段：実施	
事業種別		交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)			市町村名		全体事業費 (百万円)	備考		
19-A' 1-2	下水道	滝沢市	雨水幹線枝線（浸水対策）			滝沢市		304	防安移行先		
19-A' 1-3	下水道	滝沢市	流量計（改築更新）			滝沢市		27	防安移行先		
19-A' 1-4	下水道	滝沢市	長寿命化計画（改築更新）			滝沢市		102	防安移行先		
19-A' 1-5	下水道	滝沢市	総合地震対策計画（地震対策）			滝沢市		16	防安移行先		
全体事業費		合計 (A'+B'+C')	449百万円 363百万円	A'	449百万円 363百万円	B'	0百万円 0百万円	C'	0百万円 0百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	7.0% 2.0%

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況									
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 他事業との調整等により目標値は達成出来なかったが、汚水の整備率が向上したことにより、下水道を利用できる人口が増加し、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することが出来た。 							
II 定量的指標の達成状況		指標①（汚水の整備率）	最終目標値	91.1%	目標値と実績値に差が出た要因	国道4号の拡幅に合わせ施工する箇所の調整に時間を要したこと及び入札不調等により計画的な事業実施が困難であったため。			
			最終実績値	89.4%					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)									
3. 特記事項（今後の方針等）									
<ul style="list-style-type: none"> 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 									

(参考様式3) (参考図面)

計画の名称	19 滝沢市における循環のみちの実現	交付対象	滝沢市
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)		



凡例

—●—	行政区域
—	事業計画区域
—	幹線
■	枝線整備

整備予定箇所の色分け

—	新設(赤)
---	-------

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 19 滝沢市における循環のみちの実現

市町村名: 滝沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性							
①上位計画との適合等							
1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。	<input type="radio"/>						
2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ)	<input type="radio"/>						
3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>						
②目標値および内容の妥当性							
1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合)	<input type="radio"/>						
2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 <div style="font-size: small; margin-top: 5px;"> 該当するものに○ <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">・ 施設の長寿命化対策</td> <td style="width: 33%;">・ 浸水対策</td> <td style="width: 33%;">・ 汚泥処理施設</td> </tr> <tr> <td>・ 合流改善</td> <td>・ 処理場の増設</td> <td>・ 地震対策</td> </tr> </table> </div>	・ 施設の長寿命化対策	・ 浸水対策	・ 汚泥処理施設	・ 合流改善	・ 処理場の増設	・ 地震対策	<input type="radio"/>
・ 施設の長寿命化対策	・ 浸水対策	・ 汚泥処理施設					
・ 合流改善	・ 処理場の増設	・ 地震対策					
II. 整備計画の効果・効率性							
③目標と事業内容の整合性等							
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>						
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>						
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>						
4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>						
5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	<input type="radio"/>						
④事業の効果							
1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	<input type="radio"/>						
2) 河川等の水質改善に効果がある。	<input type="radio"/>						
3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	<input type="radio"/>						
III. 整備計画の実現可能性							
⑤計画の具体性							
1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	<input type="radio"/>						
2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	<input type="radio"/>						
3) 継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。	<input type="radio"/>						
4) 地域の実状に応じた計画になっている。	<input type="radio"/>						
⑥円滑な事業執行の環境							
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>						
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>						
3) 下水道法の事業認可を取得している。	<input type="radio"/>						